

令和元年 1 1 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
14	1	渡 辺 佳 正 議員		1 / 1
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1 市長の教育勅語観や過去の発言に関連して、日本国憲法の観点から市長の政治姿勢を問う		<p>(1) 市の計画策定や市長の公式発言など、あらゆる行政事務の判断基準として、日本国憲法を軸に据えて市民の福祉向上に努めるべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(2) 1948年に国会の衆議院と参議院で、「日本国憲法に精神に反する」という理由で「排除」及び「失効確認」の決議が全会一致で可決された教育勅語について、須藤市長は3年半前の広報ふじのみや別冊「創宮」で「今の世に通じる名言」と称賛した。このことについて、改めて市長の謝罪と撤回を求める。</p> <p>(3) 子どもの貧困や離婚家庭などに対する市長の答弁について、憲法で定められた「教育の機会均等」、「個人の幸福権追求」、さらにはSDGsの目標である「貧困をなくそう」、「質の高い教育をみんなに」、「ジェンダー平等」などの観点から不適切な発言と考える。市長の謝罪と撤回を求める。</p>		市長
2 相次ぐ台風襲来による全国の被災状況や当市の指定避難所開設・運営で得られた経験・教訓を、今後の災害対策にどう生かしていくのか		<p>(1) 多数の倒木や土砂災害などによる道路閉鎖や停電への備えについて。</p> <p>① 道路沿い樹木の枝打ち・間伐・伐採について、森林所有者への働きかけと計画策定は進んでいるのか。</p> <p>② 多くの地域で倒木や土砂災害が同時発生した場合に、地域及び規模に応じて倒木・土砂の撤去協力を市内事業者呼びかける計画はできているのか。</p> <p>(2) 指定避難所でプライバシーを確保するための間仕切りと生活改善に必要な簡易ベッドの備蓄について。</p> <p>① 市が備蓄している間仕切りと簡易ベッドはどのようなもので、備蓄数と備蓄場所の状況はどうか。</p> <p>② 富士山世界遺産センターの設計者である建築家、坂茂氏が考案している間仕切りの導入を提案するが、いかがか。</p> <p>③ 今後の備蓄充実計画について。</p> <p>(3) 指定避難所として、夏は暑く冬は寒い体育館ではなく、和室で冷暖房施設のある公民館、交流センター、出張所、地域の区民館や集会場を利用できるようにしたらどうか。</p> <p>(4) 指定避難所となる学校などとの連携で、避難している方への情報源としてテレビの準備が必要と考えるが、いかがか。</p> <p>(5) 大規模災害時に、避難生活が長期に及ぶことを想定して。</p> <p>① 民間の宿泊施設を市が借り上げて市民に提供することについて。</p> <p>② 大規模災害に備えた国・県の仮設住宅の備蓄状況、及び市内で仮設住宅を建設する場所の計画策定状況について。</p> <p>(6) 高齢者、障がい者、病人などに配慮された避難所開設・運営の改善について。</p> <p>① バリアフリーの観点から改善すべき点について。</p> <p>② 医療行為・介助行為が必要な人に対する避難場所の情報提供について。</p>		市長 関係部長